

7月26日(月)

## 見 せ か け の 従 順

聖書朗読 詩篇66：1～7

聞き従うことは、いけにえにまさり…

Iサムエル15：22

神は、あらゆる力の源であり、この世のすべての者が礼拝するお方です。そして、詩篇では、そのお方を褒めたたえる讃美で溢れています。私は、特に詩篇66篇3節の「偉大な御力のために、あなたの敵は、御前にへつらい服します。」に目が留まりました。

「へつらい服す」とありますが、神様は敵が見せかけの従順をしている場合、気づかれないことがあるでしょうか。この箇所の意味は、敵でさえ、神に従っているふりをせずにはいられないほど神様の御力は絶対的であるということだと思います。

私自身を振り返ります。私は、神様にどのような姿勢で従っているのでしょうか。喜んで心から従っているのでしょうか。それとも、神様にしかたなく従っているのでしょうか。また、従っているふりをしているのでしょうか。

詩篇66篇7節には、「その目は国々を監視される。頑迷な者を、高ぶらせないでください。」とあります。この箇所は、主が、エジプトで奴隷であったイスラエルの民を救われたすばらしい御業を思い起こさせます。

神ではなく、自分のすばらしさを人々に見せたいですか。自分の栄光ではなく神の栄光を表わす生き方をしていますか。人に褒められたい思いで生きていませんか。神様に従っているふりをするのではなく、心から主に従う自分でいたいと思います。

讃美歌 338

祈り 恵み深いお父様。私の間違いを正して下さいときでさえ寛容でいてくださることを感謝します。どうか心からあなた様に従う者になりたいという思いを授けてください。そして、あなた様に完全に従うことの出来る者としてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ノーマ・プリヴィット

カリフォルニア州 サウザンドオークス

## 今日の日

2021年7月26日～8月1日

翻訳 藤岡 伸子

編集 野口恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月27日(火)

## 落とし穴

聖書朗読 詩篇69：29～36

ですから、あなたがたは、神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神が、ちょうど良い時に、あなたがたを高くくださるためです。あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくさるからです。

I ペテロ5：6～7

自己を憐れむこと。それはとても危うく深い落とし穴となります。私たちは最善を尽くし正しいことをしようとするとき、困難に直面することも多く、それによって疲れ、あるいは、病に伏してしまうこともあるでしょう。そのようなとき、私たちは心がくじかれ、明確な道が分からなくなります。悪魔は日々そのような機会を狙って、私たちを騙そうとします。そのような時、私たちは、大きな落とし穴の崩れそうな淵に立っているのです。

私たちはいかにして自己を憐れむという罠を避けることが出来るでしょう。何よりもまず、神様にその恵みを感謝することに忙しくしていたら、自分を憐れに思う暇などなくなるでしょう。あらゆる問題に光が差すでしょう。

そして、その次に奉仕することに平安を見出すことです。誰かに電話をかけ、励ましのメッセージを送ったり訪問したりすることで、そうした多くの親切な行いが、私たちと同じような状況に置かれた誰かを元気づけることとなるのです。

こうした姿勢によって、私たちは神様に引き寄せられ、穴に落ち込む私たちを神様によって引き上げていただけるのです。

讃美歌 396

祈り 親愛なるお父様。私たちは様々な点であなた様をがっかりさせてしましますが、どうか落ち込んだ穴からあなた様を見ることが出来るよう、私たちを引き上げてください。目の前にあることではなくもっと先を見て、あなた様に信頼し、より良い日がやがてやって来ることを悟らせてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ラバーン・シャウ  
ニューメキシコ州 ホブス

7月28日(水)

## 望みを持ち続けて

聖書朗読 詩篇71：14～24

しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、驚のように翼をかけて上ることが出来る。走ってもたゆまず、歩いても疲れぬ。

イザヤ40：31

私たちは、目を瞑(つむ)っていても出来るくらいとても慣れたことがあるでしょう。けれどもそのような能力は、病が長引いたり、愛する人の世話で忙しくしたり、怪我からの回復の最中といった状況にあったりすると、暫く出来なくなることがあります。これまで「自然」に出来ていたことをするエネルギーが失われるのかもしれない。そのようなとき、私たちは、賜物を取り戻し「元に戻った」と言えるようになることを願うものです。

友人のひとりが介護施設に入所しているのですが、彼を訪ねると、過去を振り返ってこう語ってくれました。「私は1994年から事故で四肢麻痺となりました。それ以前はとても活動的でしたが、今は社会的な活動をするにも車いすを必要とし、身の回りのことをするにもサポートを必要としています。けれども「希望を持ち続ける」ということを学びました。」さらに彼は確信をもって笑顔でこう言うのでした。「私は首から下は動かすことが出来ないけれど、この部屋を訪れる人は誰でも勇気づけることはできます。」

この希望の証は私に詩篇の次の箇所を思い起させてくれるものです。「しかし私自身は絶えずあなたを待ち望み、いよいよ切に、あなたを賛美しましょう。」(詩篇71：14)

讃美歌 397

祈り 親愛なる神様。忠実でいてくださり、私たちに永遠の希望をお与えください。感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ブルーデンス・C・ウィリアムス  
フロリダ州 ジャクソンビル

7月29日(木)

## 神の契約

聖書朗読 詩篇 72

彼らが、日と月の続くかぎり、代々にわたって、あなたを恐れますように。  
彼は牧草地に降る雨のように、地を潤す夕立のように下って来る。  
彼の代に正しい者が栄え、月のなくなるときまで、豊かな平和がありますように。  
詩篇 72 : 5~7

草を刈ったばかりの畑や自分の庭の刈り立ての草の匂いを今度かく機会があったら、神様のご契約を思い出すことが出来ますように。神様はご自身のご契約をことばとして記し、私たちの心に美しい絵として描いてくださっています。草を刈ったばかりの畑の匂いをかいだことがありますか。それはとても新鮮な清々しい緑の匂いです。

草を刈って新たにされた畑、雨が降り注がれた大地、それらは私たちが神様とのかわりを覚えるものです。そのような情景を思い描いて神様のことを明確に悟らせていただけるのは何と素晴らしいことでしょうか。そのような心新たにされる情景を思うと、日と月の続く限り神様が永遠に私たちとともにいて下さることを確信することができます。何という慰めでしょうか。

さらに、この心に描く情景をより美しいものとし、私たちへの神様の素晴らしい究極のご契約を実現させるべく、神様は私たちに、義が溢れ、月のなくなるときまで豊かに繁栄するとおっしゃっています。何と素晴らしいご契約でしょうか。あなたに豊かさと繁栄がもたらされますように。神様はいかなるときも偉大なお方です。

讃美歌 424

祈り イエス様、私を愛して下さり感謝します。神様、私を愛して下さり感謝します。聖霊様、私を愛して下さり感謝します。三つにして一つなるお方。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジーン・ガン

テキサス州 ネダーランド

7月30日(金)

## 家のような場所はない

聖書朗読 詩篇84 : 1~12

まことに、あなたの大庭にいる一日は千日にまさります。私は悪の天幕に住むよりはむしろ神の宮の門口に立ちたいのです。

詩篇84 : 10

誰でも、心地よい住まい、自分の居場所と言える場所を求めるものでしょう。一日の激務をこなした後で帰る場所、リラックスし、身体を休め、活力を取り戻す場所を求めるものでしょう。

詩篇の著者は住まうべき最も良い場所は、主がおられるところだと確信しています。神様のおられるところは、この世の人にとって素晴らしいところというだけではなく、あらゆる被造物の究極の住まいです。神様の家に住むものは誰でも、そして、いかなるものにも恵みが与えられます。

詩篇の著者は、ただ住まいを得ることがすべてではないことを知っていました。神様を知らない人々と贅沢に暮らすより、神様の家の門口に立つ方が良いと言っています。今私たちのために住まいを用意してくださっているお方がおられることを感謝します。それはどれほど素晴らしい住まいでしょうか。

神とともにある家、身を休める神の大庭。

イエスと、恵まれた者とともにある平安なところ。

救い主の愛により贖われた、かつては疲れ果てていた魂の憩うところ。

清められ全き者とされ、私の神とともにあるところ。

トーマス・R・スウェットマン

讃美歌 483

祈り 親愛なる主よ。私たちのみならず、あなた様の造られたものすべてに心を留めて下さり感謝します。あなた様の御顔を拝する日を待ち望みます。イエス様のお名前によって。アーメン。

ウェス・ホーン

テキサス州 スタンフォード

7月31日(土)

## ひたむきな心

聖書朗読 詩篇86

主よ。あなたの道を私に教えてください。私はあなたの真理の道を歩みます。私の心を一つにしてください。御名を恐れるように。

詩篇86：11

英語の integrity という言葉には二つの意味があります。一つは「誠実、清廉潔白」という意味で、持つべき良い性質を表わします。もう一つは「完全無欠」です。こちらが良いものです。実のところこれら二つの意味は殆ど同じことを表わしています。

私たちは神様と人に対し、そして自分自身にも正直でありたいと願うものです。私たちは、正直さからかけ離れた者となりたくない、誠実さを持ち続けたいと願っているのではないのでしょうか。

私たちは、他者を欺くことはしたくないし、そのような思いさえ持ちたくない、自分の周囲の人に誠実でありたいと願い、また、神様を愛し、神様以外のものに惹かれることのないようにと願い、また、いかに価値あるものと見えることであっても、私たちが歩むべき道から逸らそうとするものは決して望まないものです。

この「誠実で完全無欠」というのは基本的な徳のことです。それによって私たちは形作られ、最も善なる存在で、正直でひたむきで完全な者とされます。

讃美歌 344

祈り 天のお父様。私の神様でいてくださり、私を最も善き存在となるよう試みをお与えくださり感謝します。あらゆる点において、また、あらゆる人との関係においてあなた様のみこころを求めさせてください。相容れない考えや要求に動揺したり挫かれたりすることのないようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ビリー・シルベイ

8月1日(日)

## 感謝の姿勢

聖書朗読 詩篇89：15～18

いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって父なる神に感謝しなさい。

エペソ5：20

102歳になる方がおられました。その方は老人介護施設に入所しておられましたが、そこでの生活に不平不満をもらしていた他の入所者とは違い、この女性は全く感謝の思いで過ごしておられました。

彼女は、ご主人とともに暮らしている間は共に懸命に働きましたが、何年も前に未亡人となり家族は誰もいないと私に話してくれました。

「私はこんなに素晴らしい住まいが与えられ、皆さんが私の世話をしてくださって心から感謝なんです。」と彼女は私を抱きしめ、私がやって来たことを感謝してくれました。

私は、「感謝の姿勢」が、彼女の活発な頭の働きや長生きと何か関係があるのではないかと思いました。

私は様々な物事を当たり前のように受けている事がどれほどあることかと思わされます。青い空や緑の草木、豊かな台地、そしてそれらすべてを見る目を与えられていることを神様に感謝したことがあるだろうか。「愛しているよ。」という言葉聞く耳を与えられていることを神様に感謝したことがあるだろうか。

使徒パウロは、欠乏のときも豊かなときも、いかなる状況にあっても、主に感謝し、神様に感謝し続けました。パウロは「感謝の姿勢」を実践していたのです。

今日あなたがいかなる状況にあっても、きっと感謝できる事が沢山あるはずです。

讃美歌 423

祈り 親愛なる主よ。私たちをこれまで生かしてください感謝します。私たちにこれからも必要なものすべてを備えてくださることを感謝します。何よりもイエス様を感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョアン・クレイトン